令和７年度　事業報告



令和７年度事業実施概要

令和７年度は第２次姉崎地区行動計画の最終年であり、市原市社会福祉協議会が推進する第６次市原市地域福祉活動計画と連携・連動し、住民の皆さまと一緒に地域共生社会の実現を目指すための事業を推進してまいりました。また、第３次姉崎地区行動計画（前期計画）策定にあたり、皆さまの多大なるご支援、ご協力を得られました。事業の結果は下記のとおりです。

① 地域共生社会を目指し「全年齢層向けのニコニコサロンやげんき食堂、子育てサロン」等の既存事業の定着化を図った結果、参加者＋スタッフ含め１，１００名強の参加となりました。また、『みんなの居場所「ラウレレ」』と事業協力し、５００名弱の方が参加されました。

② 第２層協議体から提案された日常生活支援事業「姉崎チョコっとサービス」は、独自の緩やかなシステムで８世帯延べ１１５件の支援を行いました。

③ 本年度から高齢者等への買い物支援事業として移動販売を８町会１０カ所、また、青葉台小 NW を実施主体としたふれあい買い物ツアーを毎月１回、地域に根差した形で実施しています。

④ 相談支援事業「おしゃべりカフェ」を廃止し、７月から各種事業にて「相談コーナー」を併設開催、困り事の重要度にて地区社協会議、ケース会議を利用して解決していきます。

⑤ “子育て家庭の支援援助、高齢者の活躍の場づくり”を目的に、中学校と協力し、「制服リユース事業」の譲渡会を 10 月下旬及び福祉バザー時に実施しました。制服ブレザー変更猶予１年目となり寄附は無く、制服・必需品含め４世帯／13 点の譲渡を行いました。今後も制服リユース事業を継続していきます。

⑥ アネッサ福祉祭りバザーを１１月２３日に、地域交流の場、歳末たすけあい運動の一環として開催し、参加者約３５０人＆収益金３２４、７２５円となりました。アンケートで“皆が集え、福祉活動が出来る場の継続、もっと必要な福祉活動である事をアピールすべき“との声を頂きました。

⑦ 防災・減災への研修事業を実施しました。

第１段：「旭市防災資料館の見学」１０月２９日に理事１５名で実施し、被災者の語り部から生の声で当時の状況、対応について聞き、見て学ぶ事、併せて、質問形式のアンケートで「姉崎地区の地震津波への対応状況」について考えました。

第２段：１月には福祉避難所開設時の体制について有秋・千種・姉崎地区社協で話し合いました。

⑧ 第３次姉崎地区行動計画策定に向けて地区行動計画策定委員会を４回開催しました。

※次ページ以降に各基本目標における取り組みの状況、検討状況について記載しています。

「基本目標Ⅰ：地域の誰もが互いに支え合うコミュニティづくり」【共感】

１.地域・福祉を知る機会の充実「福祉意識の醸成」

（１）広報部会

① 広報誌「そよ風」第 63 号を 7 月 1 日、第 64 号を 12 月 13 日に発行
※第 64 号は民生委員・児童委員改選期と重なり、発行日を変更しました。

② 発行数　９０００部/号

③ 成果・課題

実用的な広報紙を目指して事業予定や活動状況、広く社会福祉に関する情報の掲載が出来ました。SNS 等の新たな情報媒体による情報発信が出来なかったため、次年度の事業計画へ持ち越すこととします。

（２）アネッサ福祉祭りバザー

本年度も住民の福祉意識の醸成を図る事業として、”幼児から高齢者の誰もが楽しめる、フェスティバル風で地域交流ができる場の開催を目的に、福祉祭りバザーを開催しました。地域住民、企業、構成団体の皆さまのご協力もあり、また、天候にも恵まれ多くの方に来場いただきました。新たに地域包括支援センターあねさき様のご協力を得て相談コーナーを開設しました。

〖**開催結果**〗

① 開催日時…11 月 23 日（月・祝）10 時～13 時　アネッサ全館

② 売 上 額…324,725 円　来場者約 350 名

③ 成果・課題

・構成団体のご協力により新たに“お汁粉”の出店を行いました。約 200 杯を販売し、大変好評でした。

・お米や野菜類の不足がありましたが、JA 農協姉崎支店様のご支援により大根を安く購入し、販売しました。

・買い物時間を短縮、イベントへの参加が出来る時間体制としましたが、更なる改善の余地がありました。

（３）生活困窮者支援「制服リユース活動」

「生活困窮者支援及び高齢者の活躍の場づくり」を目的に制服のリユースを行いました。本年度は、制服のブレザー化への切替え猶予期間であるため、寄附件数、譲渡件数ともに少ないものの、事業の定着化を図る期間として周知を行っています。制服の変更猶予期間が終了後する２年後の本格実施を予定しています。

〖**開催結果**〗

① 開催日時…〇譲渡会　10 月 31 日（金）、11 月 1 日（土）、
11 月 2 日（日）　アネッサ内で実施
〇アネッサ福祉祭りバザー実施時に広報・周知活動を実施

② 参加者数…４世帯　計５名に制服やジャージ等１３点を譲渡

③ 寄附受付数…制服等計６点

④ 成果・課題

・譲渡会開催の他、アネッサにて常設で相談受付を実施しました。

・他事業にて、PR を兼ねた譲渡会の増設を検討します。

２.人と人とのふれあいを育む場の推進

(１)共生型サロン事業「ニコニコサロン」（アネッサ共催）

本年度から演奏会等のイベントの他に、身心のリフレッシュを目的にストレッチを実施しました。アネッサを利用するボランティアサークルを中心に、多くのボランティアのご協力を得て開催することができました。

〖**開催結果**〗

① 開催日時…毎月第４水曜日　10：15～11：30　アネッサ　体育室

② 参加者数…参加者数延べ 221 名、スタッフ数延べ 77 名　10 回開催

③ 事業内容…1 部：佐久間氏指導による頭の体操など軽運動を実施しました。
2 部：地域で活動するボランティアグループによる演奏会及び合唱などを行いました。

④ 成果・課題

・７月から新たに「相談コーナー」を設置し、相談対応は経験豊富な民生委員・児童委員に依頼しました。

・相談コーナーを開設するも相談者は無かったため、相談を待つだけでなく、一人ひとりに声掛けを行う、小さな困りごとを見逃さない体制づくりをしていきます。

・昨年と同様に男性参加者が少なく、天候不良時には参加者が減少傾向にあります。事業内容の見直しを図っていきます。

(２)地域食堂「げんき食堂アネッサ」の開催（アネッサ共催）

元気な高齢者からボランティア、幼児、小中学生を中心とした「子どもの居場所づくり」を実施しました。

〖**開催結果**〗

① 開催日時…毎月第４土曜日　10 時～13 時　アネッサ　体育室等

② 参加者数…参加者数延べ 184 名、スタッフ数延べ 147 名　９回開催

③ 事業内容…体育室やボランティアルームでの自由遊び、勉強、折り紙、季節の遊びや行事を盛り込み開催しました。昼食はみんなでカレーやシチューを美味しくいただきました。

④ 成果・課題

・大学生や新規ボランティアの参加が４名程度ありました。

・季節毎のイベント行事を取り入れ、７月はアネッサロビーに七夕の飾り付けを行い、12 月にはクリスマスツリーの飾り付けを行いました。

・９月には児童館と共催し、椎津川の生き物について講師の先生に教えていただき、生きた魚・蟹等の水生生物に触れ合いました。

・年度末にかけて参加者数が増加し、20 名受け入れを 30 名受け入れにしました。

・ニコニコサロン同様相談コーナーを開設するも相談者は無かったため、一人ひとりに声掛けを行い、小さな困りごとを見逃さない体制づくりをしていきます。

(３)ふれあいサロン事業（子育てサロン）(姉崎公民館共催)

姉崎公民館との共催事業として、姉崎地区の将来を担う子どもを育てる事を目的に、親子のスキンシップ、子育て中の親とのコミュニケーション等を図り、孤独・孤立にならないよう子育て家庭づくりの手助けをすることができました。

〖**開催結果**〗

① 開催日時…毎月第３金曜日　10：30～11：45　姉崎公民館
② 参加者数…参加者数延べ 353 名、スタッフ数延べ 145 名　11 回開催
③ 事業内容…ママカフェやリトミック、ミニコンサートなど、親子のスキンシップ、コミュニケーションの促進を図りました。
④ 成果・課題
・スタッフによる母親へのケアと共に子育て中の母親の悩み､心配事を先輩、参加者同志で相談ができ､母親のストレス解消に繋がりました。
・夏場の時期は参加者も２０名前後に低下したものの、平均して４０名弱の参加となりました。

(４)あそびばアネッサの開催（地域福祉支援事業＆姉崎保健福祉センター共催）

毎月実施の「げんき食堂アネッサ」の拡大版として、多くの地域住民の参加を呼びかけ開催しました。

〖**開催結果**〗

① 開催日時…12 月 13 日(土)　10 時～13 時　アネッサ　体育室
② 参加者数…参加者数延べ 30 名　スタッフ数延べ 19 名　ボランティア 26 名
③ 事業内容…げんき食堂アネッサの周知を図るため、拡大版として実施しました。アネッサを利用するサークルに依頼し、卓球教室やジャグリングの演技を楽しみました。昼食はみんなでカレーを食べました。
④ 成果・課題
・参加者数は増加しており、事業周知は十分図れてきています。
・他団体の行事と重なってしまい、参加者が伸び悩ぶことも懸念されます。日程の再検討をしていきます。

「基本目標２：地域のつながりを豊かにするための仕組みづくり」【共創】

１.地域で孤立させない取り組みの強化

(1) 新たな相談支援体制の推進（相談コーナーの設置）

今年度より、各種事業（ニコニコサロン、げんき食堂アネッサ、子育てサロン）実施時に「相談コーナー」を開設し、気軽に相談できる体制づくりを構築しました。

① 成果・課題

・相談コーナーを設置したものの、相談自体は無かったため、相談を待つのではなく、参加者一人ひとりに声掛けを行い、小さな困りごとを見逃さない体制づくりを進めていきます。

(2) 日常生活支援事業【姉崎チョコっとサービス】（あねチョコ）

地域福祉関係者による日頃の見守り活動の中で気づいた困り事に対し､ちょっとした７項目の作業対応を行います。会員制の住民参加型在宅福祉サービスです。

〖**開催結果**〗

① 活動状況…実施件数１１件、継続件数２件、相談対処１件、実施検討中１件

② 支援内容…庭の草刈り４件、ゴミ出し２件（継続実施中)、部屋の掃除４件、側溝の清掃１件

③ 成果・課題

・作業内容として、ゴミ出し作業、庭の草刈り、浴室掃除の依頼が増加傾向にあります。

・夏場の草刈り依頼が増えていますが、猛暑のため実施時期をずらしている状況です。

・支援者確保の観点から、作業報酬の見直しを検討します。

(３) 移動支援活動の推進

姉崎地区内大型量販店の閉店に伴い、買い物に関する移動支援活動を推進しました。

○「ふれあい買い物ツアー」

① 開催日時…毎月第２月曜日　9：30～12：00 頃まで
② 買い物先…アリオ市原店
③ 参加者数…延べ 134 名
④ 成果・課題
- 青葉台小学校小域福祉ネットワークが実施主体となり、社会福祉法人 地域福祉の会様の送迎車両をお借りして買い物先まで送迎を実施しています。
- 参加申し込みが多く、毎月３名ほどの利用待機が出ている状況です。
- 令和８年度より、要望が多かったホームセンター（カインズ）へ買い物先を追加します。

○「移動販売」の誘致

① 開催日時…毎週水・木・金曜日　　計８町会１０カ所にて実施中
② 事業内容…マックスバリュ関東株式会社様の協力を得て、移動販売車両の誘致を実施しました。誘致を希望される町会と連携し、実施場所の確保、町会回覧による事業周知を行いました。
③ 成果・課題
- 決められた停車場所にて 20 分ほど移動販売車両が滞在し、多くの食品のお買い物を楽しまれています。
- 買い物だけでなく、近隣住民同士の憩いの場となり、孤独・孤立感の減少にもつながっています。
- 今後も買い物にお困りの方が増加することが容易に想像できるため、支援の拡充に努めます。

２.地域福祉力の向上

(1) 姉崎地区行動計画の作成及び具現化

市社協が策定する第７次市原市地域福祉活動計画【前期計画】と同様に、令和８年度から令和 12 年度までの５年を期間とし、第３次姉崎地区行動計画を策定します。令和７年度第２回理事会、及び令和８年度定期総会にて上程し、承認を得て、計画に沿った取り組みを推進してまいります。

(２)近隣地区社協との連携

１月 19 日　住友化学社員倶楽部ふぉれすと にて有秋地区、千種地区との３地区社協合同による研修会を実施しました。アネッサにおける福祉避難所開設のための体制づくりについて検討し、被災時における初動体制を協力者ごとに検討していくことが必要という意見にまとまりました。

「基本目標３：地域で安心して幸せに暮らすための基盤づくり」【共生】

１.地域で活躍する人材の育成

(1) 送迎ボランティアサービス事業への積極的な協力

包括支援センターへの相談事の中に「交通問題」が寄せられています。理由は身近な問題に「大型病院の移転と小規模化、また大型店舗の閉店」によるものと考えられます。

(2) 災害ボランティア募集＆訓練等への積極的な参加呼び掛け

防災対応は町会主体の活動ですが、最近は市社協主体の「福祉避難所の設置、災害ボランティアセンター、サテライト災害ボランテイアセンター」の運営、活動も活発になっています。我々も、今後は共助・公助・自助による安全・安心社会を求めて活動が必要と考えます。

２.災害対応力の体制構築

（１）市社協主催の災害ボランティア研修会・講座・訓練への参加

１月３１日「辰巳台地区：災害ボランテイアセンター設置運営訓練」１名参加

（２）福祉避難所(アネッサ)開設時の協力体制づくり

１月 21 日有秋/千種/姉崎３地区社協連絡会議　参加：姉崎１３名(3 地区計３０名)＊アネッサ福祉避難所開設時の対応について、３ブロックに分かれ話し合った。＊３地区の協働・共助必須＊体制組織＊問題点（ソフト・ハード面）・ルール…

（３）令和７年度姉崎地区社協研修報告（自主研修事業）

気候変動の影響か全国で自然災害“風水害・地震”が多発しています。姉崎地区社協は災害への対応研修として、第１段”目で見て、耳で聞き、身体で`感じ”災害時の対応力向上を図る目的で実施しました。

【研修報告】

①日　時　・令和７年１０月２９日（水）　８：００～１７：００

②参加者　・１５名(姉崎地区社協理事)

③研修先　・旭市防災資料館見学　”３．１１東日本大震災時の津波被害発生場所”

・旭市防災資料館は、８m強の津波被災した潮騒ホテルを改築し、高さ１１mの緊急避難タワーを併設、姉崎の町に似た海岸・平地・山と地形が似た場所です。

④研修内容　・被災場所“旭市飯岡市街地の全景を高さ１１mの避難所から確認

・旭市防災資料館見学　“館内の見学、案内人よる説明、VTR での視聴”被災者であり語り部より肉声で津波襲来時の状況、避難時の対応、被災後の対応

【語り部宮本様の最後の言葉】

「自分だけは大丈夫の言葉はない」また､災害対応の準備に完成はない